

10月14日 **千種保育所で
ハロウィンパーティー**

千種保育所で毎月行われている“誕生会とお楽しみ会”。10月の誕生会の後に全園児を対象にハロウィンパーティーが行われました。園児も先生もユニークな手作り衣装に身を包み、職員が制作した釣りゲームや輪投げ、ボーリングなどを楽しんだ後、チームに分かれ年中の教室を使い宝さがしゲームを楽しみました。最後は魔女の仮装をした園長先生にお菓子のプレゼントをもらい、園児たちは目を輝かせていました。年長クラスの谷口心音ちゃんは「楽しかった。帰ったらママとパパに話したい」と話していました。



ハロウィンパーティーを楽しむ園児ら



10月14日 10月15日 **市内小学5年生が学校の垣根を越えて交流**



険しい道のりを励まし合いながら登る児童ら

市内の小学5年生が野外活動などを通じて交流を深める「串間市ふれあい体験」が第2高畑山などで行われました。市内9小学校の約130人が参加。1日目は10人程度ずつのグループに分かれて第2高畑山を登山し、児童たちは声を掛けて励まし合いながら一生懸命頂上を目指していました。頂上では各学校の紹介やクイズ大会などのレクリエーションが行われました。2日目は市総合体育館などで、避難所で利用する間仕切り段ボールの組み立てなどの防災教育や、さまざまな職種の職員から仕事の話しを聞くキャリア教育などが行われ、2日間を通して児童たちは学校の垣根を越えて交流していました。福島小学校の和田星愛ちゃんは「いろいろな学校の人と協力しながら交流できて楽しかった」と笑顔で話していました。



仕事の話聞く児童ら



間仕切り段ボールを組み立てる児童ら

10月10日 **串間中生が道の駅広場の柱に使用する記念れんがを制作**

串間中学校の1年生が、今年度完成を予定している道の駅「くしま」の屋根付きイベント広場の柱に使用される記念れんがを制作しました。今回の企画は物作りを通じて同駅に愛着を持ってもらおうと市が企画し、都城市の新燃商品等開発協議会が資材提供などで協力。生徒らは、焼く前のれんがに、彫刻刀や竹串を使用して「前進、努力」など将来の自分に向けた言葉や、花や植物の絵などを彫り、オリジナルの作品を完成させていました。坂ノ上大吾さんは「今回彫った“笑顔”を大事にこれからも頑張っていきたい」、小林悠斗さんは「完成したらみんなで見にいきたい」と話していました。



記念れんがを制作する生徒

10月25日 **都井岬伝統行事の馬追いが今年も開催**



都井岬には現在約90頭の岬馬が生息しています

都井岬に生息する国の天然記念物に指定されている岬馬を柵の中に追い込む「馬追い」が行われました。馬追いは害虫駆除や健康管理のため、年1回行われる伝統行事。今回は、都井御崎牧組合の組合員や宮崎大学農学部^{みやざき}の学生ら約60人が参加。参加者は竹の棒を手に丘を上り群れを見つけると、等間隔に並んで囲み、柵の中に追い込んでいました。26日には、寄生虫やダニの駆除剤の投与、個体識別のための印付けなどを行いました。

10月1日 **都井小児童がオンラインでJAXA職員と交流**

都井小学校の全校児童が、宇宙航空研究開発機構（JAXA）職員とのオンライン交流会を都井岬観光交流館パカラパカで行いました。同館指定管理者の株式会社南郷包装が地元の子どもたちに都井岬の魅力を再発見してもらおうと企画。交流会は、オンラインビデオ会議システム「ZOOM（ズーム）」でJAXA広報部の宮さとみつ^{みや}のりさん^りとつなぎ実施され、ロケットの構造・種類や宇宙での生活、宇宙には1千億個の銀河系があることなどを紹介や質疑応答などをしました。6年生の高橋くららは「ロケットのことや宇宙について詳しく知れてよかった」と話していました。



興味津々に話しを聞く都井小学校の児童ら